

こちら

議会広報部

2013.10
第35号

発行/周防大島町議会
〒742-2192
周防大島町大字小松 126-2
TEL: 0820-74-1003(議会事務局)
編集/議会広報編集特別委員会
印刷/(有)日良居タイムス

今回の主な内容

- 9月定例会…………… 2～4P
- 委員会報告…………… 5～7P
- 一般質問…………… 8～9P
- その他…………… 10P



和田小学校(全校児童10名)の逗子ヶ浜クリーン作戦



和田小学校では、自分たちが生まれ育った地域を感謝を込めてきれいにするボランティア活動を行っています。今回は、7月12日に実施しました。先ず、学校から逗子ヶ浜までゴミを拾って歩きます(10時30分から11時30分)。そして、逗子ヶ浜についたら、海岸清掃をします(11時40分から12時)。

ふるさとの自然や生活を直接、肌で感じ取り、ふるさとを大切に、愛する心を育み、そして、島の宝を知っている子どもは、きっと大島に帰ってきます。

9 月 定 例 会

26 議案 可決

平成 25 年第 3 回周防大島町議会（9 月定例会）が、9 月 5 日から 19 日までの 15 日間の日程で開かれました。

議会初日、町長より行政報告ならびに提案理由の説明を受け、各議案の審議等を行い、平成 24 年度各会計の決算の認定等については、所管の委員会へ付託審査としました。

休会中、9 日には総務文教、民生、建設環境の 3 常任委員会を開催し、それぞれの所管事項での検討・審査を行いました。

18 日に一般質問（4 名登壇）、最終日の 19 日には、各常任委員長の委員会審査報告、追加議案 3 件の審議を行い、討論、採決の結果、全 26 議案をすべて可決しました。

平成 24 年度 一般会計決算状況 財政分析各指数

一般会計

歳入 155 億 920 万 9 千円

歳出 147 億 191 万 4 千円

（翌年度に繰り越すべき財源 8,364 万 2 千円）

実質収支額 7 億 2,365 万 3 千円の黒字

※平成 24 年度の各財政分析指数
（普通会計決算統計から）

財政力指数（単年度）…………… 0.180

実質収支比率…………… 7.4%

経常収支比率…………… 92.0%

公債費負担比率…………… 18.6%

実質公債費比率…………… 14.4%

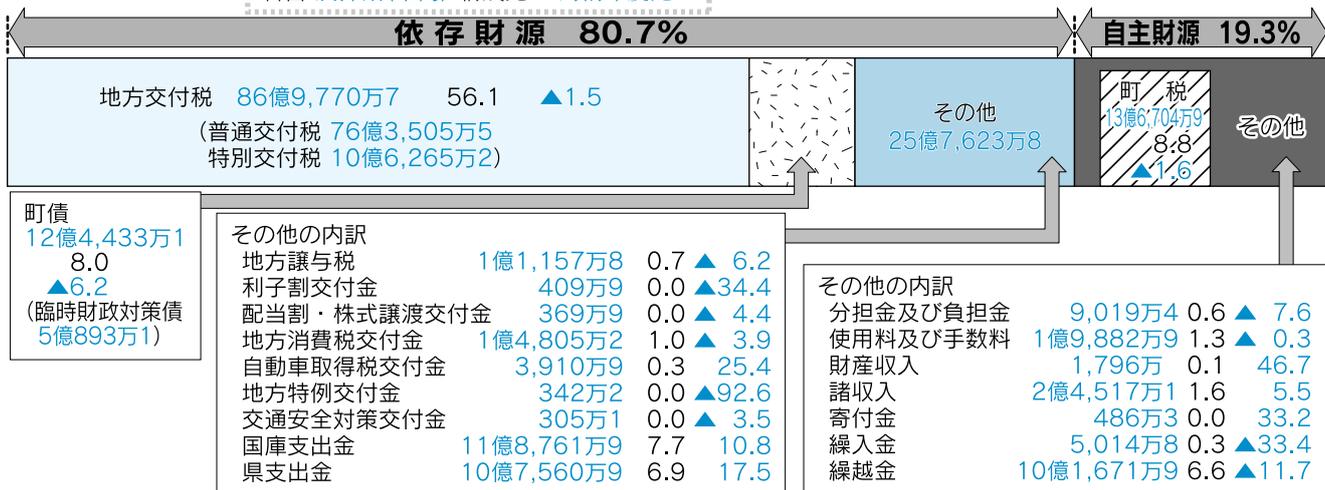
将来負担比率…………… 104.8%

◆◆ 平成 24 年度一般会計 歳入歳出状況 ◆◆

歳入の状況（一般会計）

平成 24 年度歳入合計 155 億 920 万 9 千円 100% ▲1.0%

科目 決算額(千円) 構成比% 対前年度比%



歳出の状況（一般会計）

平成 24 年度歳出合計 147 億 191 万 4 千円 100% 0.3%

(性質別歳出) 科目 決算額(千円) 構成比% 対前年度比%



各基金の増減

(千円)

	前年度末現在高	増減高	決算年度末現在高		前年度末現在高	増減高	決算年度末現在高
財政調整基金	28億877万4	8億2,929万5	36億3,806万9	土地開発基金	2億7,060万7	6万7	2億7,067万4
減債基金	3億5,274万	1億5,013万8	5億287万8	中山間ふるさと水と土保全基金	3,113万1		3,113万1
県収入証紙購入基金	300万		300万	ちびっ子医療助成事業基金	3,255万8	▲1,428万5	1,827万3
奨学資金貸付基金	4,288万4	1万3	4,289万7	観光振興事業助成基金	4,177万9	▲1,044万	3,133万9
福祉振興基金	2億8,059万1	10万9	2億8,070万	福祉医療一部負担金助成事業基金	2,860万	▲1,355万8	1,504万2
国民健康保険基金	5,073万9	2万	5,075万9	ふるさと応援基金	507万9	42万5	550万4
介護給付費準備基金	0	3,455万6	3,455万6	外国語活動推進事業基金	4,786万6	304万2	5,090万8
ふるさと創生基金	4億736万6	15万9	4億752万5	CATV加入促進事業基金	5,944万	▲2,183万6	3,760万4

地方債の状況

(千円)

区分	H23年度末現在高	H24年度発行額	元利償還金	H24年度末現在高
			計	
一般会計	215億4,507万3	12億4,433万1	23億5,636万8	208億51万3
介護保険	2,075万5		691万9	1,383万6
簡易水道	30億7,669万1		3億727万7	28億3,527万4
下水道	20億9,800万4	8,390万	1億7,362万4	20億4,673万9
農業集落排水	21億1,497万8	9,960万	1億9,071万8	20億5,947万6
漁業集落排水	1億6,881万3	420万	1,661万	1億6,009万
渡船	63万9		13万3	51万5
計	290億2,495万3	14億3,203万1	30億5,164万9	279億1,644万3

各特別会計の概要

国民健康保険事業特別会計では、歳入の主なものの決算額構成比は、国民健康保険税 14.2%、国庫支出金 23.0%、後期高齢者交付金 29.4%、一般会計からの繰入金 8.0%。歳出では、保険給付費 70.1%、共同事業拠出金 12.1%。収納率は、現年課税分で 93.15%。後期高齢者医療事業特別会計では、歳入は、後期高齢者医療保険料 64.0%、一般会計からの繰入金 35.8%。歳出では、後期高齢者医療広域連合納付金 95.9%、総務費 4.0%。収納状況は、現年度分で 99.9%。介護保険事業特別会計では、歳入は、支払基金交付金 26.8%、国庫支出金 25.2%、一般会計からの繰入金

特別会計決算状況

(千円,%)

会計名	歳入		歳出	
	決算額	対前年増減率	決算額	対前年増減率
国民健康保険	35億7,728万4	2.1	35億7,728万4	2.1
後期高齢者医療	4億2,118万	2.4	4億2,075万9	2.5
介護保険	32億8,989万2	1.6	32億1,225万9	1.0
簡易水道	8億6,225万5	▲13.6	8億6,225万5	▲13.6
下水道	3億7,902万2	▲15.0	3億7,902万2	▲15.0
農業集落排水	3億2,698万2	3.6	3億2,698万2	3.6
漁業集落排水	3,243万6	17.7	3,243万6	17.7
渡船	7,448万2	0.6	7,448万2	0.6
計	89億6,353万3	▲0.6	88億8,547万9	▲0.8

15.5%。歳出では、保険給付費 91.4%。収納状況は、現年度分で 99.46%。簡易水道事業特別会計では、歳入は、使用料及び手数料 50.1%、一般会計からの繰入金 49.4%。歳出では、簡易水道費 64.3%、公債費 35.6%。収納状況は、現年度分で 97.38%。下水道事業特別会計では、歳入は、一般会計からの繰入金 53.8%、町債 22.1%、使用料及び手数料 17.4%。収納状況は、現年度分で 97.87%。農業集落排水事業特別会計では、歳入は、一般会計からの繰入金 53.1%、町債 30.5%、使用料及び手数料 15.7%。歳出では、公債費 58.3%、農業集落排水費 41.7%。収納状況は、現年度分で 99.18%。漁業集落排水事業特別会計では、歳入は、一般会計からの繰入金 76.1%、町債 12.9%、使用料及び手数料 10.9%。歳出では、公債費 51.2%、漁業集落排水費 48.8%。収納状況は、現年度分で 96.20%。渡船事業特別会計では、歳入は、県支出金 33.5%、国庫支出金 30.8%、使用料及び手数料 29.2%。歳出では、事業費 99.8%、公債費 0.2%。

平成24年度 公営企業局 事業概要

収益的収入及び支出では、事業収益は、46億6,041万8千円の予算総額に対し、43億5,609万9,612円の決算額となっている。事業費用は、予算額46億6,008万8千円に対し、45億5,893万5,919円の決算額となっている。また、資本的収入及び支出では、決算額は、収入が16億5,114万9千円、支出は17億5,966万3,357円となっている。

(収益的収入及び支出)

	総収益 (千円)	総費用 (千円)	
東和病院	15億4,642万1	15億7,421万3	東和病院では、74.7%の病床利用率で、入院患者数・外来患者数ともに減少している。橘病院では、92.1%の病床利用率で、入院患者数・外来患者数ともに減少している。大島病院では、81.0%の病床利用率で、入院患者数・外来患者数ともに減少している。やすらぎ苑では、入所者数・通所者数ともに減少している。さざなみ苑では、入所者数・通所者数ともに増加している。
橘病院	6億4,437万5	6億7,690万	
大島病院	13億7,562万7	14億6,458万8	
やすらぎ苑	2億3,118万9	2億9,268万7	
さざなみ苑	3億5,714万2	3億7,588万9	
看護学校	2億134万6	2億2,071万2	

公営企業局 業務実績

		平成24年度	平成23年度
東和病院	入院患者数	35,738人	36,037人
	1日平均入院患者数	98人	98人
	平均入院日数	73.1日	89.8日
	病床利用率	74.7%	75.2%
	外来患者数	43,875人	45,495人
	1日平均外来患者数	179人	186人
橘病院	入院患者数	12,096人	12,263人
	1日平均入院患者数	33人	34人
	平均入院日数	83.9日	78.4日
	病床利用率	92.1%	93.1%
	外来患者数	29,459人	31,896人
	1日平均外来患者数	120人	131人
大島病院	入院患者数	29,270人	30,280人
	1日平均入院患者数	80人	83人
	平均入院日数	56.1日	57.6日
	病床利用率	81.0%	83.6%
	外来患者数	37,042人	40,726人
	1日平均外来患者数	151人	167人

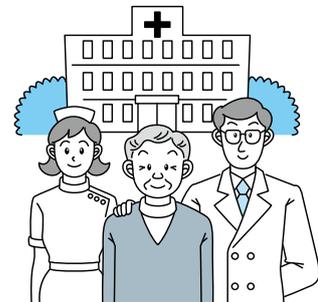
		平成24年度	平成23年度
やすらぎ苑	入所者数	16,884人	17,106人
	1日平均入所者数	46人	47人
	入所利用率	92.5%	93.5%
	通所者数	1,730人	1,758人
	1日平均通所者数	7人	7人
さざなみ苑	入所者数	27,266人	27,060人
	1日平均入所者数	75人	74人
	入所利用率	93.4%	92.4%
	通所者数	2,059人	2,048人
	1日平均通所者数	8人	8人

		平成24年度	平成23年度
看護学校	1学年(定員35人)	44人	41人
	2学年(定員35人)	38人	34人
	3学年(定員35人)	31人	35人
	計	113人	110人

平成25年度補正予算

(千円)

		増減	総額
一般会計		7億5,628万7	149億9,640万8
特別会計	国民健康保険	4,764万3	36億5,621万5
	後期高齢者	62万1	4億2,561万2
	介護保険	7,815万1	33億7,339万
	簡易水道	82万3	8億3,749万9
	下水道	830万8	3億8,357万3
	農業集落排水	167万7	3億3,034万8
	漁業集落排水	379万9	3,605万
	渡船	8万9	8,405万1
公営企業	資本的収入	1,570万	24億1,127万6
	資本的支出	1,573万6	24億6,065万5



◆◆ 条例の一部改正 ◆◆

周防大島町税条例

周防大島町国民健康保険税条例

付託された議案は、全件とも可決及び認定すべきものと決定。委員よりの質疑に対し、答弁のうち、主なものについて報告する。

総務課関係 総合支所における地域支援班の職員数にバラツキがある。東和は3名体制であるが、防災時に対応できるのかとの質問に、検討するとの答弁。各施設へAEDが設置されているが、職員に対し扱い方の研修を行っているのか、バッテリーの管理はどうなっているのかとの質問に、研修は適宜している。消耗品については期限内に交換しているとの答弁。

政策企画課関係 地域づくり活動支援補助金について、団体名・金額・支援年数についての質問に、補助金は同事業で3年間であり、団体名称と補助金の額について答弁。地域づくり活動支援事業については、団体名と事業内容を議会に報告してもらいたいとの質問に、議会に報告するとの答弁。近畿久賀町人会に活動をするよう呼びかけてほしいとの質問に、事務局に連絡するとの答弁。他に旧田布施農高校舎に係る地域総合整備事業貸付金

について、CATVの加入状況についての質問があった。

税務課関係 町民税還付未済額2名37,000円と固定資産税過誤納分返還金については、納税者の指摘で分かったことか、町の調査で判明したことかとの質問に、年金特別徴収で、死亡により還付すべきところ、社保庁より還付通知がなかったため、固定資産税については、町の確認により判明との答弁。法人の滞納分収納率について、平成23年度に対し24年度は落ちているのはなぜか、との質問に、23年度までは分納誓約による納付をしていた1法人が社長交替により、納付がなくなったためであるとの答弁。

総合支所関係 日良居出張所にエレベーターは必要かとの質問に、高齢者教室等で使用、避難所にもなっているため必要との答弁。ゲリラ豪雨や地震の対応に対して地域支援班の現体制で業務に支障はないかとの質問に、警



総務文教常任委員会

報等が発令されている場合には地域支援班職員が待機となるが、警報が連続すると少数のため対応困難との答弁。

教育委員会

総務課関係 学校給食収入の、収入未済額のうち過年度分と現年分があるが、現年分の未納世帯は新たな世帯の未納か、それとも過年度分滞納世帯と同一か、徴収方法はどのようにしているかとの質問に、同一世帯、同一児童で、現年分は、学校で保護者に対応、過年度分は税務課で対応しているとの答弁。『給食費は当然支払うべきもの』という姿勢こそが、本当の教育・家庭の教育ではとの質問に、現年分については、学校と教育委員会が一丸となって未納の無いように努力するとの答弁。

学校教育課関係 いじ

め対策について、スクールカウンセラーの活用状況、PTA研修についての質問に、各小・中学校で、週1回いじめについてのアンケートを実施、カウンセラーは、年間80時間派遣、社会福祉士による相談を20時間、PTAの研修会も実施しているとの答弁。ALT2名体制は良いことだが、指導力についてはどのように考えているかとの質問に、教室では担当の先生が主で、外国語指導助手である。しかし外国人に直接触れる絶好の機会であるので有意義に活用していきたいとの答弁。

社会教育課関係 指定管理になっている施設について、管理運営に民間の知恵と活力・発想が活かされているかとの質問に、年度途中であり、利用者数等把握していないとの答弁。

付託された議案は、全件とも可決及び認定すべきものと決定。委員よりの質疑に対し、答弁のうち、主なものについて報告する。

福祉課関係

生活保護者の認定はどのように行っているのかとの質問に対し、一番多いのは対象者本人が相談に来るが、高齢者等は家族や民生委員が相談に来ることが多い。保護基準に該当するかどうかは対象者の年金、預貯金等の収入と保護基準の金額のどちらが多いかで判断する。判定については、福祉事務所内で所長以下担当全員でケース会議を開いて決定するとの答弁。

国民健康保険事業特別会計

国保税の現年滞納分が増えているが、納税義務者にとって重たい税ということではないかとの質問に対し、平成24年度より賦課方式を3方式に変えた時点で、税の負担感が急に上がらないように、また広く浅く負担するように配慮した。柳井管内でも、上関町の次に国保税が安いという位置にあり、また、県内でも低い水準にあるとの答弁。

健康増進課関係

資格証の交付状況について調査したことはあるかとの質問に対し、資格証、短期証の交付の状況については少し前に県の調査があった。保険証の交付については住民票と照合のうえ、書留で送付するので保険証が届かないことは殆どない。また、資格証を交付している者であっても、どうしても病気でやむを得ない場合は、納付がない状況においても相談者から特別な事情の届け出の提出をもとに判定委員会に諮り、1か月等の短期証を交付するようにしているとの答弁。

介護保険事業特別会計

平成24年度当初で基金を積み立てるようになってはいるが、保険料の引き下げにつながっていないのではとの質問に対し、介護保険料は計画期間3カ年の介護サービスの見込量に対して設定をしている。また、保険料部分については、全国の人口比率による高齢者の増加に伴い、65歳以上の第1号被保険者が20%から21%と1%引き上げられたことも保険料上昇の要因となっているとの答弁。

公営企業局企業会計

発達小児科が新設されたが、利用者はどのくらいかとの質問に対し、平成25年7月の患者数でみると、東和病院が2名、大島病院

が3名である。町内や周辺地域には患者がいると聞いているので、診療時間はかかるが今後増加するのではないかとの答弁。東和病院は入院、外来ともに患者数が減少しているがとの質問に対し、消化器内科や整形外科医など専門の医師不足により町民の要望に十分応えることが出来ていないことや人口減の影響があるとの答弁。また、石原公営企業局管理者より、非常に厳しい経営状況ではあるが、地域医療を守るためにも3病院を堅持し経営改善に全力をあげ、町民へのサービスの低下が生じないように信頼される病院づくりに職員一丸となって努めていく旨の報告があった。



民生常任委員会

本委員会に付託された議案はいずれも認定すべきものと決定。審査の過程における発言のうち、主なものについて報告する。

商工観光課関係

観光協会への補助金や職員数が多すぎるとの質問に対して、職員はパートを含めて4名で、周防まるかじり等のイベント事業や観光振興事業等の多種業務を行っており、人員が多いとは考えていない。

また、補助金についても適正に執行されているが、今後とも監督、指導を行うとの答弁。

観光施設の利用者が、前年度より減少している理由と今後の対策はとの質問に対して、前年度のような山口国体の引き受け等がなかったため、今年度は来町者が減少している。

今後の対策として、自然を活かした海岸通りサイクリング等のPR活動、体験型修学

旅行の誘致活動を一層推進し、「お・も・て・な・し・の・心」をもった施設づくりをしたいとの答弁。

農林課関係

青年就農給付金の選定基準及び8名の対象者は家族を含めて住民票を本町へ移しているのかとの質問に対して、選定条件は45歳以下で農業に対して十分な熱意があること等で、対象者が作成した経営計画により県が審査し選定している。現在の対象者は、全員が本町へ住民票を移しており、その家族は住民票を移した者と予定している者があるとの答弁。

各地区の農産物加工所の利用者増加に向けての、PRは考えているのかとの質問に対して、大島地区以外の農

産物加工所は稼働しているが、大島地区の農産物加工所は稼働して間もないので、今後、PR活動をして利用促進を図りたいとの答弁。

水産課関係

農水産物等出荷施設のホイストクレーンを建て替える場合は、漁協以外の利用は寡少であるし、維持管理経費も掛かるので、町が設置を含めて単独で維持するのか。漁協の負担はとの質問に対して、漁協だけでなくライフラインの維持に必要な業者の利用等もあるため、町が設置を含めて維持をするが、今後、施設の更新や利用料の改定を含めて検討するとの答弁。

建設課関係

街路灯をLED化すると、自治会の負担分も安価になるのではとの質問に対して、光熱費だけであれば安価だ

が、LED化に伴う建て替え等の建設工事費も発生するとの答弁。

上下水道課関係

下水道事業特別会計久賀、大島地区の下水道計画について、将来的に維持管理経費の増加が予想されるが見通しはどうかとの質問に対して、どのような修繕費等が出てくるか不透明な部分もあるが、使用料で将来的に維持管理費は賄えると思込んでいるとの答弁。

生活衛生課関係

町民の方からレジ袋型のごみ袋に変わってごみが2/3くらいしか入らないと苦情があるがとの質問に対して、レジ袋型でも前の形でも、ゴミが入る量はほとんど変わらない。また、前の型に戻すと割高になる場合もあるとの答弁。

長浜にあるリサイクル収集所は、法的に問題はないのかとの質問に対して、先般、県と町合同で立入調査の実施、指導を行った。この収集所は、古物商として取引をしているので、特定廃家電を廃棄物として引き取る場合には、保健所から指導を受けるとの答弁。



一 般 質 問

20 年来の悲願！ 海底送水の実現を！！

平野 和生 議員



問 浮島、特に江ノ浦地区の簡易水道は危機的な水不足と、水質の悪さに悩まされ続けている。水不足による夏場の断水や、水質の悪さによる温水器の故障には毎年のように問題が生じている。

島民20年来の悲願である海底送水は県の離島振興計画にも、町の新町建設計画にも明記されている。早期実現を期待する。町長の所見を問う。

答 浮島島民の皆様方には慢性的な水不足でご迷惑をおかけしている事は十分認識してい

る。平成22年度に塩化物イオン濃度が上昇した事から淡水化装置を設置したが、現在においては既存の装置では間に合わなくなり、緊急避難的な措置として海水でも対応できる装置に改修する工事を施工している。しかしながら海底送水については試算事業費約7億円と長期にわたる工事期間が必要となるが、浮島地区の安全で安定した給水の為には必要であると認識している。財源確保の為、より有利な補助制度活用の研究・検討を考えている。



工事中の淡水化装置

小、中学校へ ミストシャワーの設置を！！

松井 岑雄 議員



問 ミストシャワーは、熱中症対策に有効であり校外等で運動する生徒達に必要であると考え。全校に設置すべきと所見を問う。

答 現在16校の小中学校の内7校は、冷房設備を整備している。残り9校も耐震化と共にエアコン設置も検討中である。

猪対策について

問 猪対策は、これから収穫の始まる穀類・米・ミカン等の農業従事者にとって大きな課題である。今後の対策と籠罠等の無償提供は。

答 基本的には、猟友会によるくくり罠等の捕獲が主である。今年度も国の鳥獣被害防止総合対策交付金で、籠罠を2基購入する予定である。貸出すので、1人でも多くの方に狩猟免許を取得してもらい、活用してほしい。

猪の籠罠



家房地区の笛吹峠までの早期町道整備を

問 オレンジロードは、立派に完成したが、笛吹峠から家房までは、道幅も狭く、危険な状況である。計画的に早期の整備について問う。

答 本路線は、3229 mと長く全区間舗装しているが、急峻な地形でカーブもきつく、通行しにくい道路と認識している。今後も現状維持しながら、安全に通行出来る様、支障を来す箇所等について、改修を行う。

ここが聞きたい!!

4名が登壇

核兵器廃絶へ 首長として努力を!

広田清晴 議員



問 2015年核兵器廃絶NPT再検討会議に向け機運の盛り上げとして平和の美術展、コンサート、核廃絶署名等一致点での共同行動の拡大を求める。

答 私たちは、世界で唯一の被爆国民として核兵器の恐ろしさ、戦争の悲惨さ、平和の意義を世界に訴えていかなければならないと思っている。啓蒙啓発活動に取り組んでまいりたいと思っている。

要請 現在日本国内には「核の傘論」自分たちは米国の核兵器で守ってもらっているとの

誤った認識が蔓延している。このことの払拭が非常に大事。今議会で新町建設の見直しを提案されている。その点でも大事な課題と位置付け協議するよう求める。

問 漁港にトイレ等設置(町管理)している所は別にして自治会集会所のトイレを提供している所は経済的支援が必要。自治体の努力を求める。

答 釣り客等が集会所のトイレを利用した場合維持管理費が増加することは理解するが「自治会奨励金」で対応して頂きたい。

要請 現在人口減のなか、自治会奨励金は集落内防犯灯費などで消えている小集落対策として支援策を講じるよう求める。

その他、大島駅、柳井駅、岩国駅のバリアフリー化の推進のための努力(JR、関係市との協議の推進)原発問題を取り上げた。

公有地の維持管理をどう考える

小田貞利 議員



問 本来、町道、漁港等の維持管理は、陳情の有無に関わらず、計画的に対応してゆくべきでは。

答 町道の維持管理は、住民からの通報・要望に対し、緊急・重要性を考慮し対応。現在は年一回の草刈りまたは除草剤の散布を行っているが、全路線での対応は厳しい。

漁港の補修や修繕は、要望や陳情の有無に関わらず実施して

いるが、全施設に目が行き届かない場合も多い。国庫補助事業で、全漁港の全施設に対し維持管理補修計画を策定しているので、今後は適切な維持補修が実施できる。日常管理の労力・費用軽減のため、漁港施設用地の舗装も漸次実施していきたい。

人材育成に努力を

問 現在、アジア諸国の発展は目ざましい。農・漁業面からも観光面からも、注視が必要。

積極的に公費助成を行い海外に視察を促し、本町将来のための人材育成に努めるべきでは。

答 職員の人材育成を重視している。海外における研究や研修等を通じ国際的な感覚に富んだ人材育成が必要である事から、自治体国際化協会の『地域国際化を担う自治体職員の海外研修』について研究している。

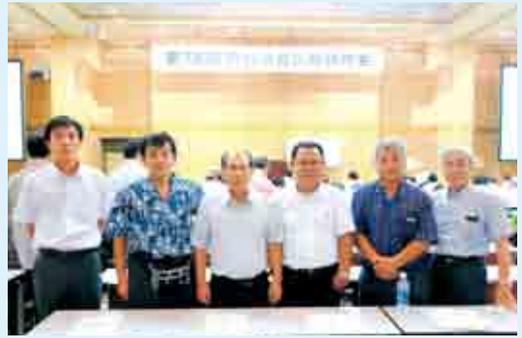


待たれる波止場の改修

◇ 視察研修報告

◆ 議会広報編集特別委員会

私達広報委員6名は7月29日、30日の2日間東京で開かれた研修会及び、NHKの視察研修を行いました。広報デザインの基礎知識というテーマでの講演におきましては深く感銘をうけ、今後の広報作成に役立てて行きたいと思いました。又NHKの視察では広く海外に情報発信をして日本をアピールしているとの事でした。改めて、情報発信の重要性、多様性を痛感した所



議員派遣・議員研修及行政視察の報告・予定

行事内容	日程	開催地	参加議員
自治研修会	9月27日	山口市	田中,魚谷,松井,小田,平川,新山各議員
近畿東和会	9月29日	大阪	新山議員
行政視察 (防災対策特別委員会)	9月30日~10月1日	淡路島	尾元,吉田,魚原,田中,中本,松井,久保,平川各議員
東京東和町人会	10月13日	東京都	魚谷議員
行政視察 (3合同常任委員会)	10月28日~29日	鳥取県日南町	全議員
近畿大島会	11月上旬	大阪府	久保議員
東京大島郡人会	11月19日	東京都	田中,吉田,久保,広田,松井,濱本各議員
行政視察 (地域活性化特別委員会)	11月25日~26日	鳥取県智頭町	今元,平野,魚谷,広田,荒川,濱本,小田,新山各議員

契約の締結

工事名	入札執行日	入札者数	落札会社	入札金額	落札比率
H25年度長浦スポーツ海浜スクエア総合グラウンド人工芝生化新設工事	H25年8月28日	7社	(株)スポーツテクノ和広中国支店	83,490,000円	53.69%
H25年度白木(外入)漁港海岸保全施設整備工事	H25年9月10日	13社	(有)岡田建設	78,580,131円	89.60%

編集後記

暑い夏も過ぎさり、朝晩はすこしやすくなりました。大島庁舎周りの田の稲刈りが始まり、秋をかんじられます。10月からは極早生みかんの収穫も始まり、島がにぎやかな季節になってきます。

しかし猪が田畑に出没し、収穫物を食べ荒らす被害が増えてくる季節でもあります。なかなか完全に猪の侵入を防ぐことは難しいですが、被害をできるだけ少なく抑えるために、電気柵のチェックなどをして農作物を守りましょう。(濱本)



(左から) 平野 和生、平川 敏郎、濱本 康裕、魚谷 洋一、田中隆太郎、松井 岑雄



議会広報・議事録を「周防大島町ホームページ」で公開しています。

周防大島町ホームページ <http://www.town.suo-oshima.lg.jp>

なお、各図書館には議事録を備えています。